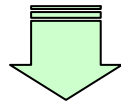


研究全体構想図

研究主題

思考力・判断力・表現力の育成



研究内容

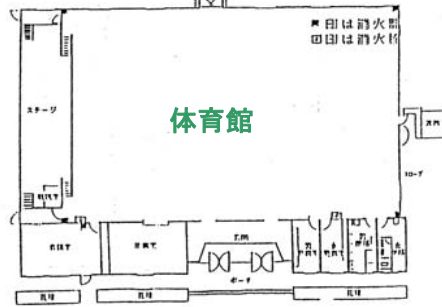
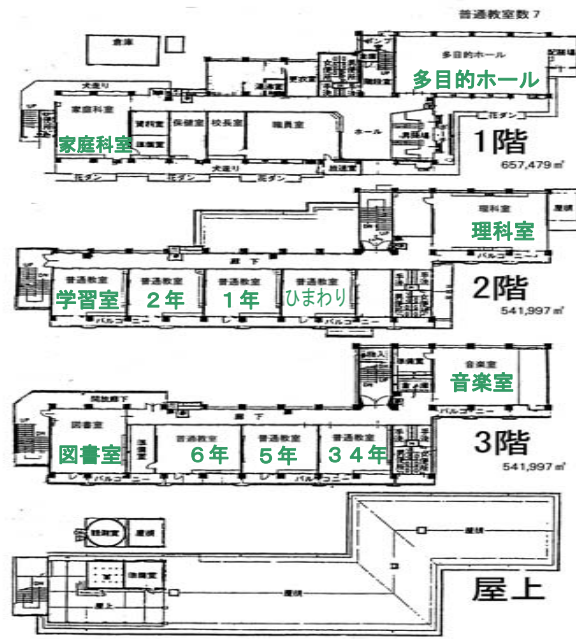
ねらいの明確化	学習過程の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○問題文の指導内容と学習指導要領解説書との対応でねらい設定 ○レディネスと解説書の対応でねらい設定 ○指導内容、既習内容、実態から反応を予想し設定 ○ねらいを児童のことに直し用意 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識をもった児童が自分で取組む ○作業的、体験的な算数的活動の工夫 ○問題について考えたり、知識をもとに発展的に考える算数的活動の工夫 ○メタ認知をさせ、評価・判断力を育てる工夫
主体的学習態度育成	言語活動の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○算数のおもしろさを味わわせる工夫 ○内発的動機づけをうながす工夫 ○学習内容への興味・関心づけと継続の工夫 ○家庭学習とのつなぎの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題把握（情報解釈）と考える言語活動の工夫 ○説明・交流の言語活動の工夫 ○気づき・関連から概念化の言語活動の工夫。



教育課程

区分	年間授業時数											
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひまわり学級(情緒)		3年	5年		
教科	国語	306	315	245	245	175	175	国語	200	140		
	<書写>	<35>	<35>	<35>	<35>	<35>	<35>	<書写>	<15>	<22>		
	社会			70	90	100	105	社会	60	85		
	算数	136	175	175	175	175	175	算数	160	140		
	理科			90	105	105	105	理科	75	85		
	生活	102	105					生活				
	音楽	68	70	60	60	50	50	音楽	60	50		
	図画工作	68	70	60	60	50	50	図画工作	60	50		
	家庭					60	55	家庭		60		
	体育	102	105	105	105	90	90	体育	105	90		
<保健>			<5>	<5>	<8>	<8>	<保健>	<5>	<8>			
道徳	34	35	35	35	35	35	道徳	35	35			
学級活動	34	35	35	35	35	35	学級活動	35	35			
総合的な学習			70	70	70	70	自立活動	105	140			
外国語活動					35	35	総合的な学習	50	35			
計	850	910	945	980	980	980	外国語活動		35			
特活	児童会活動	16	16	16	16	16	計	945	980			
	クラブ活動			11	11	11	児童会活動	16	16			
	学校行事	61	59	59	61	73	78	クラブ活動	11	11		
	学校裁量	67	67	61	61	53	53	学校行事	59	73		
	総計	994	1052	1092	1129	1133	1138	学校裁量	61	53		
							総計	1092	1133			

教室配置図



平成23年度

学校要覧



星の子 太陽の子 風の子

満天の星のように輝きながら、気づき、考え判断行動し、ふりかえる子

太陽のような笑顔で挨拶し、人の立場になって考え、前向きに判断行動する子

北風にも負けず外遊びもし、明るく、元気で、強い子

思考力等の育成
ねらいの明確化・展開の工夫
意欲の醸成

笑顔と前向きな考え
「ハイ」の返事
笑顔で挨拶・よさ見つけ活動

健康・体力づくり
外遊び・業間体育・3点固定

笑顔であいさつ
気づき、見通し考え行動し、ふりかえる

神石高原町立来見小学校

〒720-1602
 広島県神石郡神石高原町井関2696
 Tel 0847-85-2800
 Fax 0847-85-2814
 E-mail kurusho1@lilac.ocn.ne.jp

来見小学校 校歌

作詞 平原康雄 作曲 石槌冬樹

一、高台に新しい光みちて
 燃えあがる 燃えあがる 若い命
 山脈とおく 空たかく
 今このみどり 学び舎に
 謳おう 謳おう われらの 来見小学校

二、高台にさわやかな 雲流れ
 風に鳴る 風に鳴る 若い心
 のぞみはるか 夢のせて
 今この空に 学び舎に
 家庭
 伸びよう 伸びよう われらの 来見小学校

三、高台に燃えいする 知恵求め
 たくましい たくましい 若い身体
 久遠の歴史 きざみつつ
 今この丘に 学び舎に
 築こう 築こう われらの 来見小学校

★学校経営方針

法及び教育行政施策を基に、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成・実施・評価し、ミッションに基づきビジョンを追求し続ける探究的な経営をする。そのために地域・保護者の願い、児童の実態をふまえながら、使命を自覚し教育的愛情をもつ校長を中心とした教職員が協働する体制を組織化する。

★学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた力を持った前向きな子どもの育成
 ～ 星の子・太陽の子・風の子 ～

★経営理念（ミッション）

『子どもたちの今の幸せ、未来の幸せを築く』

なぜ「今の幸せ」なのか。児童は、発達段階からして「今が幸せ」感がないと、学習や様々な活動に意欲が出にくいからである。

【今の幸せとは】大人等から大切にされている実感（愛着形成）があり、他・社会との温もりのある人間関係（絆）がベースとなって自律性（判断、自己決定）、有能感（達成感・充足感）などが満たされた人間本来の自然な「明るい状態のこと」である。つまり、攻撃・否定的風土でなく励ましなどの温もりある支持的・肯定的風土の中で、【自分の役割をもち（自己存在感）】、自分で考え判断行動し、達成感・充足感もてる【明るくイキイキとした自己評価の高い肯定感のある状態のこと】である。それは、学ぶことに適した【意欲的で前向きな希望・夢を育む状態】であり、しかも【試行錯誤が許される創造的な状態】であり、野心だけでなく【利他の志を育む状態】ともなる。

そんな風土の授業の中で、教師は常に授業目標を意識し、児童の問題を解決するという学習目標を自然な欲求に変える。そして問題解決のためです。あれこれ考え、気づき、表現（書き）し、判断し（目的・目標に向かっていくか点検・修正し）ながら考えを進め、結果がでたら（表現できたら）、目的・目標に照らし判断し、そして過程をふりかえり適切かどうか、より簡潔・明確にできないか判断し、必要に応じ修正する。そうして得る日々の小さな達成感、充足感（目標達成、問題解決、人のための貢献、新たな発見、やった感等）でも繰り返し味わわせれば幸せ感は増幅する。こうすると、主体的な学習態度となり積極的に意味・関係づけした一歩抽象化した知識・技能を習得し、試行錯誤しながらその知識を活用する思考力、判断力、表現力を伸ばすことができると考える。すると、考え方はさらに前向きになり、希望・夢がさらに持てるようになり理想を求めることができるようになる。希望・夢、理想実現のため、愚痴らず、妬まず、怒らず（三毒の追放）、人のせいにするのではなく逆に人の立場も考えながら自分はどうするか考えデメリットも逆手に考え個性とし、挑戦や探究活動のための熱中する行動につなげる。

また、希望・夢、理想、目的・目標、志・利他等を意識すれば、無意識も変わり、気づき生まれる。見えないものが見えてくる。すると行動が変わる。工夫し心を込めて行動すれば結果が変わる、と考える。

明るさと人の立場になって考えるやさしさ・思いやりがあれば人から信頼される。やさしさ・思いやりは勇気を湧かせる。勇気は強さにつながり自立ができる、と考える。このようなことは、幾多の困難を乗り越えてきた人類の進化・進歩の歴史が証明している。

今、幸せ感を味わわせ、関係性等人間力とともに意味・関係性等を理解した知識、思考力等能力を身につけ、理想を求め将来の希望・夢を育み、その実現のための展望力である計画・設計力や実践力である自己調整・判断力、そして苦しさも楽しさに変える前向き力等の問題解決・目標達成能力を身につけることは、児童の「未来の幸せ」を築くことになる。

そして、家族や郷土、我が国や世界の平和と繁栄に貢献する真の自立した人間を育成することが使命である。

★めざす子ども像（ビジョン）

星の子 【満天の星のように輝きながら、気づき、考え判断行動し、ふりかえる子】
 太陽の子 【太陽のような笑顔で挨拶し人の立場になって考え、前向きに判断行動する子】
 風の子 【北風にも負けず外遊びもし、明るく、元気で、強い子】
 来見の子 【笑顔であいさつする、やさしく、つよい子】

★本年度重点課題

「笑顔のあいさつ・明るさと、気づき・判断力で日本一」

1 明るくやさしく前向きで、希望を持ち自立した児童の育成
 職員心得 “有徳隣、率先垂範、師弟同行、学履行”

希望は生きる糧である、夢があったらなおよい、理想を求めるとさらによい、と考える。希望・夢、理想実現のため、他とともに他に思いをやりながら自らを高め、前向きに歩み続ける児童を育成したい。そのために、まず、笑顔で挨拶し明るく生活するとともに児童理解を深める。その上で、自律性、自己存在感・有能感、人間関係力を高め児童の主体化を図りたい。

2 児童がたくましく生き抜くため、自ら考え判断表現する意欲と能力の育成

職員心得 “知之者、不如好之者、好之者、不如樂之者”

人間がここまで進化し進歩してきたのは、人を思いやる心など協同の力を伸ばしてきたこと、知識や知恵を発達させ伝える能力を、希望・夢、理想等による欲求に基づき伸ばしてきたこと、理性などにより耐える力などを伸ばしてきたからかもしれない。そこで、児童の「今の幸せ、未来の幸せ」を築くため、欲求を刺激し内発的動機づけとしたうえで主体的学習態度を育成し、意味・関係付けた知識を習得させ、それらを活用して問題を解決するための思考力等能力を育成していく。

